

「労働に関するCSR推進研究会」個別企業に対するヒアリング事項

(CSRの推進状況等)

- 1 御社のCSRへの取組の現状は、どのようになっているか。特に、労働に関するCSRについて、どのような取組を行っているか。また、御社がCSRに取り組むにあたって、参考にした経済団体等の文書（日本経団連「企業行動憲章」「企業行動憲章実行の手引き」、経済同友会「企業評価基準」など）や民間規格（国際連合「グローバル・コンパクト」、OECD「多国籍企業行動指針」など）はあるか。
- 2 御社のCSRの推進体制（社内横断的な機関を設けているか、CSR推進部署や専任担当者を置いているか等）は、どのようになっているか。特に、労働に関するCSRの推進体制についてはどうか。
- 3 御社では、どのような方法で、CSRを推進しているか。その方法は、法令遵守（コンプライアンス）に係る部分とこれを超える部分とで違いはあるか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。
 - (1) 社内向けに「考え」、「方針」やこれを具体化する規程等を作成しているか。
 - (2) 自社のCSRの推進状況をどのように把握しているか。
 - (3) 把握した自社のCSRの推進状況を、その後のCSRの推進に、どのように生かしているか。
- 4 御社でのCSRの取組について、
 - (1) 御社では、CSRに取り組むにあたって、どのような分野に力を入れているか。
 - (2) 御社のCSRの取組の中で、労働に関するCSRの優先度はどのようになっているか。
 - (3) 労働に関するCSRの中で、重点的に取り組んでいるものはあるか。

(取引先企業への働きかけ等)

- 5 御社では、取引先の企業を選定するにあたって、取引先企業のCSRの推進（CSRの取組、情報開示）の状況を考慮しているか。また、取引先企業

のCSRの推進状況を把握し、取引先企業に対しCSRの推進を求め、促すなどの取組を行っているか。

(海外取引先企業の場合)

- 6 御社では、海外との取引があるか。海外との取引がある場合には、取引先の企業等を選定するに当たって、そのCSRの推進（CSRの取組、情報開示）の状況を考慮しているか。また、取引先企業に対しCSRの推進を求め、促すなどの取組を行っているか。さらに、取引先企業のCSR推進の状況を把握しているか。

(CSRに関する情報開示)

- 7 御社では、自社のCSRの取組について、情報開示を行っているか。行っているとすれば、どのような項目について、どのような方法で行っているか（社会・環境報告書の作成・公表、HPの活用、ステークホルダーとの対話、説明等）。その方法は、法令遵守（コンプライアンス）に係る部分とこれを超える部分とで違いはあるか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

- 8 御社では、自社のCSRの取組を情報開示するにあたって、開示を差し控えている項目はあるか。その開示を差し控える項目について、情報開示の名宛人として、(i)労働組合や従業員に対する場合と(ii)消費者、取引先等それ以外のステークホルダーに対する場合とでは、開示を差し控える項目に違いがあるか。また、開示を差し控えている項目があるとすれば、それはどのような理由からか。

(CSRを推進する上での問題点等)

- 9 御社では、CSRを推進する上での問題点、隘路がどのようなものがあると考えているか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

(CSR推進の効果)

- 10 御社は、CSRを推進（CSRの取組、情報開示）することにより、どのような効果・メリットがあったか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

(今後のCSRの取組の方向性等)

- 11 御社では、自社のCSRへの取組の現状について、どのような認識を持っているか。また、今後、どのようにCSRに取り組んでいこうとしているか。

るのか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

(海外進出先における取組) [※ 海外進出企業の場合の追加ヒアリング事項]

- 御社では、海外進出先の支社、支店等に対して、どのようにCSRに取り組むよう、指示、指導しているか。その取組の内容、推進体制等は、国内におけるのとは、どのように異なっているか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

- 御社の海外進出先の支社、支店等におけるCSRの取組について情報開示を行っているか。その情報開示の項目、方法等は、国内におけるのとは、どのように異なっているか。特に、労働に関するCSRについてはどうか。

- 御社では、海外進出先の支社、支店等におけるCSRの推進（CSRの取組、情報開示）に当たり、どのような点に留意しているか。また、海外進出先の支社、支店等がCSRを推進する上での問題点、隘路としてどのようなものがあると考えているか。特に、労働に関するCSRについては、どうか。

以上